

第 82 回大会（2028 年）～第 85 回大会（2031 年）における実施競技

1. 正式競技 : 計 41 競技 【注】下記※1 参照

(1) 毎年実施競技 : 計 39 競技

[本大会] 計 36 競技

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車競技、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレール射撃、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

[冬季大会] 計 3 競技

スキー、スケート、アイスホッケー

(2) 隔年実施競技 : 計 2 競技

[本大会] 計 2 競技

馬術、なぎなた

[冬季大会] 該当競技なし

2. 公開競技 : 計 10 競技 【注】下記※2 参照

[本大会] 計 10 競技

綱引、少林寺拳法、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック、スポーツチャンバラ、ダンススポーツ

[冬季大会] 該当競技なし

3. デモンストレーションスポーツ

上記「1. 正式競技」および「2. 公開競技」に該当しない競技。

なお、日本スポーツ協会加盟競技団体以外の競技についても、「国民体育大会デモンストレーションスポーツ実施基準」に基づき、開催都道府県競技団体が開催都道府県と調整の上で実施することができる。

4. 特別競技 : 計 1 競技

[本大会] 計 1 競技

高等学校野球

[冬季大会] 該当競技なし

※1 正式競技の実施区分のうち「開催地選択競技」については、第 4 期実施競技選定においては休止とする。

※2 公開競技については、別に定める「国民体育大会公開競技実施基準」に基づき、当該中央競技団体が主体となり、開催都道府県の合意を得た上で実施することができる。

第4期(第82回～第85回)実施競技選定書面調査審査結果

順位	競技団体名	前回 順位	前回 比較	得点 1000点 換算	合計	(1)競技会	(2)ジュニア	(3)女性スポ	(4)医科学	(5)競技会開
					得点	活性化	充実	ーツ推進	サポート	催運営能力
					1,240	380	200	240	160	260
1	バレーボール	2	↑	836.6	1,038	336	180	174	140	208
2	水泳	1	↓	822.1	1,020	326	160	210	120	204
3	テニス	7	↑	728.6	904	270	170	132	132	200
4	ボウリング	11	↑	723.7	898	330	130	174	100	164
5	トライアスロン	23	↑	722.1	896	236	130	198	152	180
6	サッカー	3	↓	709.2	880	234	170	156	120	200
7	セーリング	17	↑	696.3	864	252	140	168	144	160
8	スケート	8	→	691.5	858	250	130	198	120	160
8	軟式野球	18	↑	691.5	858	262	160	132	108	196
10	アーチェリー	15	↑	689.9	856	266	170	156	128	136
11	ソフトテニス	5	↓	686.7	852	278	130	144	124	176
12	ライフル射撃	25	↑	672.2	834	286	110	174	112	152
13	陸上競技	4	↓	668.9	830	166	170	198	120	176
14	ラグビーフットボール	6	↓	665.7	826	248	110	132	152	184
15	レスリング	27	↑	643.1	798	246	180	156	64	152
16	体操	19	↑	639.9	794	202	140	168	112	172
17	柔道	13	↓	619	768	190	100	186	132	160
18	卓球	28	↑	612.5	760	200	120	144	112	184
19	スポーツクライミング	30	↑	599.6	744	248	110	150	96	140
20	銃剣道	35	↑	598	742	232	80	138	120	172
21	アイスホッケー	37	↑	569	706	196	140	138	116	116
22	ホッケー	29	↑	564.2	700	212	90	138	88	172
23	ハンドボール	12	↓	554.5	688	178	180	114	72	144
24	バスケットボール	10	↓	549.6	682	116	150	144	112	160
25	ウエイトリフティング	21	↓	544.8	676	204	80	156	80	156
26	ボート	20	↓	540	670	222	110	102	92	144
27	クレール射撃	40	↑	538.4	668	254	150	108	48	108
28	ソフトボール	9	↓	520.6	646	160	80	102	112	192
29	フェンシング	24	↓	512.6	636	174	110	144	72	136
31	剣道	36	↑	509.3	632	144	50	174	104	160
32	ボクシング	41	↑	507.7	630	176	50	132	112	160
33	弓道	14	↓	490	608	150	90	132	80	156
34	カヌー	22	↓	478.7	594	210	50	114	80	140
35	スキー	34	↓	448.1	556	120	140	84	72	140
36	自転車競技	33	↓	417.5	518	130	70	114	68	136
38	バドミントン	16	↓	394.9	490	100	110	108	52	120
40	空手道	32	↓	369.1	458	98	70	150	4	136
41	ゴルフ	38	↓	359.4	446	94	40	72	108	132
43	相撲	39	↓	320.7	398	126	60	12	68	132
45	なぎなた	26	↓	314.3	390	130	70	42	24	124
46	馬術	31	↓	298.2	370	78	20	120	40	112
29	ダンススポーツ	-	-	512.6	636	162	100	162	108	104
37	武術太極拳	公開	-	398.1	494	144	120	102	48	80
38	ゲートボール	公開	-	394.9	490	154	70	90	48	128
47	綱引	公開	-	294.9	366	112	60	54	88	52
50	パワーリフティング	公開	-	219.2	272	120	20	24	24	84
42	バウンドテニス	公開	-	328.8	408	90	40	138	56	84
44	エアロビック	公開	-	317.5	394	124	70	72	32	96
48	スポーツチャンバラ	-	-	261.1	324	178	10	60	12	64
49	グラウンド・ゴルフ	公開	-	246.6	306	60	30	96	28	92
51	少林寺拳法	-	-	177.3	220	18	40	42	36	84
-	近代五種									
-	ボブスレー・リュージュ・スケルトン									
-	野球									
-	カーリング									
-	オリエンテーリング									
-	バイアスロン									
-	ドッジボール									
-	チアリーディング									
-	ペタンク・ブール									
-	日本拳法									

正式競技希望だが基礎条件を満たしていないため公開競技

公開競技希望

国民スポーツ大会第4期実施競技選定（第82回大会～第85回大会）
書面調査回答状況

回答内容	団体数
正式競技希望	46
公開競技希望	5
希望無し	6
未回答	4
合 計	61

調査期間：令和4年1月28日～3月11日

国民体育大会（国民スポーツ大会）開催地

大会 [開催年]	冬季大会			本大会	備考
	スキー	スケート	アイスホッケー		
第77回 [2022・R4]	秋田県	栃木県		栃木県	
特 別 [2023・R5]	岩手県	青森県		鹿児島県	
国民スポーツ大会					
第78回 [2024・R6]	山形県	未 定		佐賀県	
第79回 [2025・R7]	未定	未 定		滋賀県 (開催内定)	
第80回 [2026・R8]	青森県 (開催内定)				
第81回 [2027・R9]	未 定			宮崎県 (開催申請書提出順序了解)	
第82回 [2028・R10]	長野県 (開催申請書提出順序了解)				↑ 第4期実施競技選定対象 ↓
第83回 [2029・R11]	未 定			群馬県 (開催申請書提出順序了解)	
第84回 [2030・R12]	未 定			島根県 (開催申請書提出順序了解)	
第85回 [2031・R13]	未 定			奈良県 (開催申請書提出順序了解)	

国スポ第4期実施競技選定 ーコンセプトー

2019.12.12
R1年度第3回国体委員会決定

国スポの活性化

国、日体協(当時)及び開催地の都道府県は、国内トップレベルの総合競技大会である国民体育大会にオリンピック競技種目の導入を促進することなどにより、アスリートの発掘・育成を含む国際競技力の向上に一層資する大会づくりを推進する。

スポーツ基本計画

「国体ムーブメントの推進」を積極的に展開し、国体が「地域の活性化、スポーツ文化の浸透、アスリートの発掘・育成・強化」に寄与することを目指す。

21世紀の国体像

競技会

<第3期競技選定のポイント(大項目)>

- 競技会の活性化
- ジュニア世代(18歳以下)の充実
- 女子スポーツの推進
- スポーツ医・科学サポートの充実
- 競技会開催・運営能力
- 競技団体のガバナンス

※第2期のポイントを踏まえつつ、「スポーツ基本計画」「21世紀の国体像～国体ムーブメントの推進～」の内容を基に整理する。

<第4期競技選定のポイント(大項目)>

- 競技会の活性化(競技会のインテグリティ確保を含む)
- ジュニア世代(18歳以下)の充実
- 女性スポーツの推進
- スポーツ医・科学サポートの充実
- 競技会開催・運営能力

※「競技団体のガバナンス」については、『スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>』に基づく対応を基礎的な条件とする。

※第3期のポイントを踏襲し、第3期から第4期の間における各競技団体の国スポ活性化に向けた取り組み“実績”を評価する。

国民体育大会における実施競技区分の概念図

競技区分		所属	競技形式	会期	成績
(天皇杯・皇后杯 成績対象競技) 正式競技	毎年実施競技	日本スポーツ協会 加盟 (準加盟除く)	都道府県対抗	大会会期内	天皇杯・皇后杯 成績対象 (但し、隔年実施競技に ついては、当該大会 実施競技のみを対象 とする。)
	隔年実施競技				
	開催地選択競技 ※第74回～第81回 大会は休止				
公開競技			中央競技団体の 考え方による	大会会期前・内	天皇杯・皇后杯 成績対象外
デモンストレーションスポーツ		開催都道府県 体協加盟・認定	開催県の 考え方による		

第4期実施競技選定における選定基準について

第82回大会（2028年）から第85回大会（2031年）における実施競技選定については、以下に示す内容により、総合的に評価を行う。

1. 正式競技の基礎的条件について

国スポにおける正式競技については、次の(1)～(4)の事項すべてを満たしていることとし、本項目を満たしていない競技は、「正式競技」として実施しない。

なお、(1)、(2)、(4)については、実施競技選定調査開始時（「実施競技選定調査開始時」とは、競技団体への書面調査実施通知日をいう）、(3)については所定の期日までに満たしていなければならない。

- (1) 日本スポーツ協会（JSP0）の加盟競技団体の競技であること。
JSP0に加盟している競技団体の競技であること（準加盟は「正式競技」として実施しない）。
- (2) 47都道府県に中央競技団体支部組織があり、47都道府県体育・スポーツ協会に加盟していること。
中央競技団体支部組織について、次の条件をいずれも満たしていること。
ア. 全国47都道府県支部組織が発足し、中央競技団体へ加盟していること。
イ. 全国47都道府県支部組織が当該都道府県の体育・スポーツ協会へすべて加盟していること。
- (3) 当該競技を統括する中央競技団体が、「スポーツ団体ガバナンスコード〈中央競技団体向け〉」の遵守状況の自己説明及び公表を、スポーツ統括3団体（日本スポーツ協会、日本オリンピック委員会、日本障がい者スポーツ協会）が定める方法により実施すること。
- (4) 国内外における競技の位置付けとして、次のア、イのいずれかに該当する競技であること。
ア. 国際的に普及し、より競技性が高く、国際競技力向上の一翼を担う競技であること。
ただし、次の(A)、(B)のいずれかに該当する競技であること。
(A) 第32回オリンピック競技大会（東京）及び第24回オリンピック冬季競技大会（北京）での実施が決定している競技であること。^{*1)}
*1) ただし、当該大会での実施が決定している種目を1つ以上、国スポにおいて実施すること。
(B) 国際的に普及し、次の条件のうち4つ以上を満たしている競技であること。
a) 当該競技の国際的な組織（IF）が結成され、活動実態があること。
b) 当該競技の国際的な組織（IF）へ加盟している国・地域の統括組織（NF）数が50以上であること。
c) 当該競技の国際的な組織（IF）が、半世紀（50年）以上の歴史を有していること。
d) 当該競技の国際的な組織（IF）が、GAISF（旧スポーツアコード）に加盟している団体の競技であること。
e) 第19回アジア競技大会（杭州）及び第8回アジア冬季競技大会（札幌）での実施が決定している競技であること。
イ. わが国古来の伝統的な競技であること。
当該競技は、日本古来の伝統文化として、相応の歴史を有する競技（武道）であること。なお、本項に該当するJSP0加盟団体の競技は、以下のとおり。
【当該競技*2】 相撲、柔道、弓道、剣道、空手道、銃剣道、なぎなた
*2) 柔道及び空手道については「項目アー（A）」の該当競技として扱う。

※ 実施競技選定調査開始後、決定までの間に、コンプライアンス違反等にかかる処分により上記(1)(2)の基礎的条件を満たさなくなった場合、本実施競技選定の対象から除外する。

2. 評価方法及び評価項目

「中央競技団体への書面調査」、「中央競技団体へのヒアリング調査」及び「都道府県体育・スポーツ協会への書面調査」の各結果に基づき、以下の項目により評価を行う。

項目№	大項目	中項目
項目 1	競技会の活性化 (競技会のインテグリティ確保を含む)	(1) 競技普及に向けた取り組み
		(2) 国体及び競技会の価値向上、ブランディングの取り組み
		(3) 持続可能な競技会運営に向けた取り組み (サステナビリティ)
		(4) 競技会のインテグリティ (誠実性・健全性・高潔性) 確保に向けた取り組み
項目 2	ジュニア世代 (18歳以下) の充実	(1) ジュニア世代競技者を位置付けた強化・育成・普及プランの策定・展開状況
		(2) ジュニア世代登録競技者数
		(3) タレント発掘に向けた取り組み
項目 3	女性スポーツの推進	(1) 女性競技者を位置付けた強化・育成・普及プランの策定・展開状況
		(2) 女性競技者・指導者・審判員の増加に向けた具体的な取り組み
		(3) 女性の競技者数・指導者数・審判員数
		(4) 国体実施種目 (参加人員) の男女比率
項目 4	スポーツ医・科学サポートの充実	(1) スポーツ医・科学を所管する委員会等の活動状況
		(2) 競技者の健康・安全管理に係る規程・指針等の整備
		(3) 競技者・指導者等への健康・安全管理の教育・啓発
		(4) アンチ・ドーピング活動の実施状況
項目 5	競技会の開催・運営能力	(1) 各都道府県における競技者数・指導者数・審判員数
		(2) 各都道府県における競技役員 (審判員以外) の確保状況
		(3) JSPO 公認指導者の活用状況
		(4) 各都道府県競技団体の組織体制強化に向けた連携・協力
		(5) 各都道府県における施設整備状況
		(6) 競技用具・器具の調達への協力
		(7) 競技会における安全管理体制の整備

第4期実施競技選定における基本的な評価区分・評価基準について

【共通事項】

- 全評価項目（50項目）を5段階の評価区分で評価し、それぞれ20点満点に換算する。
- 第3期実施競技選定時の重点項目（「ジュニア世代の充実」、「女性スポーツの推進」、「競技団体のガバナンス」）を継承する項目（「競技会のインテグリティ（誠実性・健全性・高潔性）確保に向けた取り組み〔4項目〕」、「ジュニア世代（18歳以下）の充実〔4項目〕」、「女性スポーツの推進〔8項目〕」／計16項目）については得点を1.5倍または2.5倍する。
- 1,240点満点を最終的に1,000点満点に換算する。

評価区分 (段階)	評価基準<ベース>	評価点 (20点満点)
5	課題に対して、定期的（継続的）に対応した実績があり、さらに付加的な対応も行っている（検証・改善作業、今後に向けた具体的な計画、都道府県競技団体に対する取り組み等）。	20
4	課題に対し、定期的（継続的）な対応、または付加的な対応（検証・改善作業、今後に向けた具体的な計画、都道府県競技団体に対する取り組み等）を行った実績がある。	16
3	課題に対して、計画や規程等に基づき対応した実績がある。	12
2	課題に対応する計画や規程等はあるが、実績がない。 課題に対しての対応実績はあるが、根拠となる計画や規程等が整備されていない。	4
1	課題に対して、対応した実績及び対応する計画がない。	0

第4期実施競技選定における評価項目及び配点

令和元年度第4回国民体育大会委員会決定

大項目		中項目	項目通し№	調査対象	小項目	配点案 【小項目同配点×重点項目加算】	
項目1 競技会の活性化 (競技会のインテ グリティ確保を含む)	(1) 競技普及に向けた 取り組み	①	①	【NF】 【県体協】	1) 全国的な強化・育成・普及プランの策定・実行	20	20
			②	【NF】	2) 強化・育成・普及プランにおける国体の位置づけの明確化	20	20
			③	【NF】	3) 国体開催地における国体に向けた競技の普及・啓発活動の取り組み実績	20	20
			④	【NF】	4) 国体開催地における国体終了後のレガシーを創出する多様な取り組み実績	20	20
			⑤	【NF】	5) 国体における競技会観客数増加に向けた具体的取り組み実績	20	20
			⑥	【NF】	6) 国際大会における実績(参加実績・競技成績)	20	20
	(2) 国体及び競技会の 価値向上、ブランディング の取り組み	⑦	⑦	【NF】	1) 国体における日本代表選手の参加実績	20	20
			⑧	【NF】	2) 中央競技団体が行う国体PRの取り組み実績	20	20
			⑨	【NF】	3) 国体競技会場内における国体企業協賛活動やJSPOが行う国体PR活動等への協力実績	20	20
			⑩	【NF】	4) 受動喫煙防止に向けた具体的な取り組み実績	20	20
	(3) 持続可能な競技会 運営に向けた取り組み (サステナビリティ)	⑪	⑪	【NF】	1) 国体競技会における施設・競技用具・備品の有効活用に向けた取り組み実績	20	20
			⑫	【NF】	2) 国体競技会における環境に配慮した取り組み実績	20	20
			⑬	【NF】	3) あらゆる人々が競技を楽しむことができる環境整備に向けた取り組み実績 (ダイバーシティ&インクルージョン)	20	20
	(4) 競技会のインテグリティ (誠実性・健全性・高潔性) 確保に向けた取り組み	⑭	⑭	【JSPO】	1) 国体参加資格違反の発生有無	20	30
			⑮	【NF】	2) 審判員の資質向上、不正判定防止に向けた具体的な取り組み実績	20	30
			⑯	【NF】	3) 国体出場選手の選考における公平性・公正性・透明性の確保に向けた取り組み実績	20	30
			⑰	【NF】	4) 競技会における競技者、観客等の人種差別やヘイト防止対策の整備と周知	20	30
項目2 ジュニア世代(18歳 以下)の充実	(1) ジュニア世代競技者を 位置付けた強化・育成・ 普及プランの策定・展開 状況	⑱	⑱	【NF】	1) 強化・育成・普及プランの策定・実行	20	50
			⑲	【NF】	2) 国体を通じた(活用した)ジュニア世代の普及・育成への取り組み実績と成果の検証	20	50
	(2) ジュニア世代登録競技者数	⑳	【NF】	1) 登録競技者数におけるジュニア世代の割合	20	50	
項目3 女性スポーツの推進	(1) 女性競技者を位置付けた 強化・育成・普及プランの 策定・展開状況	㉒	㉒	【NF】	1) ジュニア世代を含めた全世代の女性競技者の強化・育成・普及プランの策定・実行	20	30
			㉓	【NF】	2) 国体を通じた(活用した)ジュニア世代を含めた全世代の女性スポーツの普及・ 女性競技者の育成への取り組み実績と成果の検証	20	30
(2) 女性競技者・指導者・ 審判員の増加に向けた 具体的な取り組み	㉔	㉔	【NF】	1) ジュニア世代を含めた全世代の女性競技者へのサポート(医・科学的サポートやライフ イベントへの配慮等)体制・取り組み実績	20	30	
		㉕	【NF】	2) 女性指導者・審判員へのサポート(キャリアサポートやライフイベントへの配慮等)体制・ 取り組み実績	20	30	
	㉖	㉖	【NF】	1) 登録競技者数における男女の割合	20	30	
		㉗	【NF】 【JSPO】	2) 有資格指導者数における男女の割合	20	30	
	㉘	㉘	【NF】	3) 審判員数における男女の割合	20	30	
		㉙	【NF】	1) 国体参加選手人員の男女比率	20	30	
項目4 スポーツ医・科学 サポートの充実	(1) スポーツ医・科学を 所管する委員会等の 活動状況	㉚	㉚	【NF】	1) スポーツ医・科学を所管する委員会の設置と活動実績	20	20
			㉛	【NF】	2) 日本代表選手への医・科学サポートで得た知見・成果の都道府県競技団体等 への提供実績	20	20
	(2) 競技者の健康・安全管理 に係る規程・指針等の 整備	㉜	㉜	【NF】	1) 競技者の健康・安全管理に係る規程・指針の整備状況	20	20
			㉝	【NF】	2) 競技者の傷害に対する補償体制の整備状況	20	20
	(3) 競技者・指導者等への 健康・安全管理の教育・ 啓発	㉞	㉞	【NF】	1) 研修会の実施や広報の積極的な活動実績	20	20
			㉟	【NF】	1) アンチ・ドーピングを所管する委員会(部会等)の設置と開催実績	20	20
	(4) アンチ・ドーピング活動の 実施状況	㊱	㊱	【NF】	2) 競技者、指導者等幅広い対象に対する教育・啓発活動の具体的な取り組み実績	20	20
			㊲	【NF】	3) アンチ・ドーピング規則違反の発生有無	20	20
			㊳	【NF】	1) 登録競技者数	20	20
	項目5 競技会の開催・ 運営能力	(1) 各都道府県における 競技者数・指導者数・ 審判員数	㊴	㊴	【NF】	2) 都道府県予選会実施にあたっての登録競技者数	20
㊵				【JSPO】	3) JSPO公認スポーツ指導者数	20	20
㊶				【NF】 【県体協】	4) 審判員数(国体の審判となり得る資格を有する審判員)	20	20
㊷				【NF】	1) 国体都道府県予選会を実施する上で必要な競技役員(審判員以外)の 確保状況	20	20
(2) 各都道府県における競技 役員(審判員以外)の 確保状況		㊸	㊸	【NF】	1) JSPO公認スポーツ指導者の活用状況	20	20
			㊹	【NF】	1) 中央競技団体の都道府県競技団体に対する組織体制強化に向けた取り組み実績	20	20
(3) JSPO公認指導者の 活用状況		㊺	㊺	【NF】	1) 国体開催基準要項施設基準を満たす施設の有無	20	20
			㊻	【NF】	2) 国体都道府県予選会の実施可能な施設の有無	20	20
(4) 各都道府県競技団体の 組織体制強化に向けた 連携・協力		㊼	㊼	【NF】	1) 国体実施のための競技用具・器具の調達に係る協力体制 (貸与や整備費負担等)	20	20
			㊽	【NF】	1) 悪天候(予測を含む)や災害発生時のガイドライン等の整備状況及び取り組み実績	20	20
(5) 各都道府県における 施設整備状況		㊾	㊾	【NF】	2) 競技会における医療・救護体制のガイドライン等の整備状況及び取り組み実績	20	20
			㊿	【NF】	3) 中央競技団体主催の競技会における関係者(競技者、運営スタッフ、観客等) に対する補償の整備状況	20	20
			㋀	【NF】		20	20

1,000満点に
得点調整
(×0.806)

1,000

※小数点第2位以下は切り捨てる